

全安協・警察庁

第59回交通安全全国国民運動中央大会

国民拳げ交通安全意識向上

全日本交通安全協会(全安協)と警察庁は1月16、17日、全国各地の交通安全活動者ら約1800人を東京都内に招き、「第59回交通安全全国国民運動中央大会」を開いた。同催しは、内閣府と文部科学省、国土交通省の後援を得て毎年行われているもの。今年も初日の分科集会では専門家による講演や交通安全活動者による事例発表が、2日目の本会議では秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと、交通安全賞章受章者や交通安全年間スローガン最優秀者の表彰、大会宣言が行われ、交通安全普及活動への思いをより一層強めた。なお、分科会では例年と同様、二輪車安全運転特別指導員(特指)による活動事例も発表された。

◆本会議

2日目の本会議は、文京区内で開催。主催者を代表して、全安協の今井敬会長があいさつ。「皆様方とともに、子どもと高齢者の交通事故防止、飲酒運転等悪質・危険な運転の根絶をはじめ、様々な交通安全諸対策の推進に全力を尽くしていく」と決意を述べた。

ご臨席された秋篠宮文仁親王殿下は「私たちが普段

ご臨席された(左)秋篠宮親王殿下(右)同妃紀子殿下

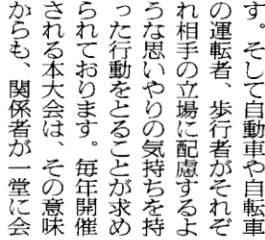


本会議の様子

利用する道路には、自動車や自転車、そして高齢者や子供など、多くの車や人が往来しており、路上の交通事故は誰にでも起こり得ることで、これらの事故を防ぐためには、私たち一人ひとりが交通事故を防止しようとする自覚を持って交通道徳を高め、それを実践することが肝要と考えま



今井全安協会長



今井全安協会副会長



安倍総理大臣

「政府としては、世界一安全な道路交通を実現するため、子どもと高齢者の安全確保や高齢運転者の交通事故防止を重点として、官民一体となった取り組みを強化するとともに、先端技術の積極的な活用やそのさらなる普及、安全、安心な歩行空間の確保など、道路交

通環境の整備、交通安全意識と交通マナーの向上等の諸対策を強力に推進していく」と述べた。

恒例の表彰では、最初に交通安全賞章への表彰を開催。全安協では、多年にわたり交通安全活動に尽力し、著しい功績のあった交通安全功労者や優良安全運転管理者、優良運転者に対し、功績に応じて交通安全賞章「緑十字・金章」「同・

銀章」「同・銅章」を贈っており、金章と銀章は交通安全全国国民運動中央大会本会議で表彰している。今回は▽緑十字金章▽交通安全功労者・優良安全運転管理者108名、優良運転者42名▽緑十字賞銀章▽交通安全功労者・優良安全運転管理者382名、優良運転者215名の各代表者が登壇、

栗生俊一警察庁長官から表彰状が、今井会長からはメダルが手渡された。続いて行われた交通安全優良団体等表彰では▽交通安全優良事業所88事業所▽交通安全優良学校45校▽優良交通安全協会57協会▽優良安全運転管理者協議会48協議会に対する表彰が行われ、今井会長から受賞者代表に表彰状が手渡された。

この後、「交通安全年間スローガン」「交通安全フアミリー作文」最優秀入選者に対する内閣総理大臣賞の授与が行われ、最後に、今後の活動推進の方針としてまとめられた大会宣言文が読み上げられた。